

# 観中人権だより

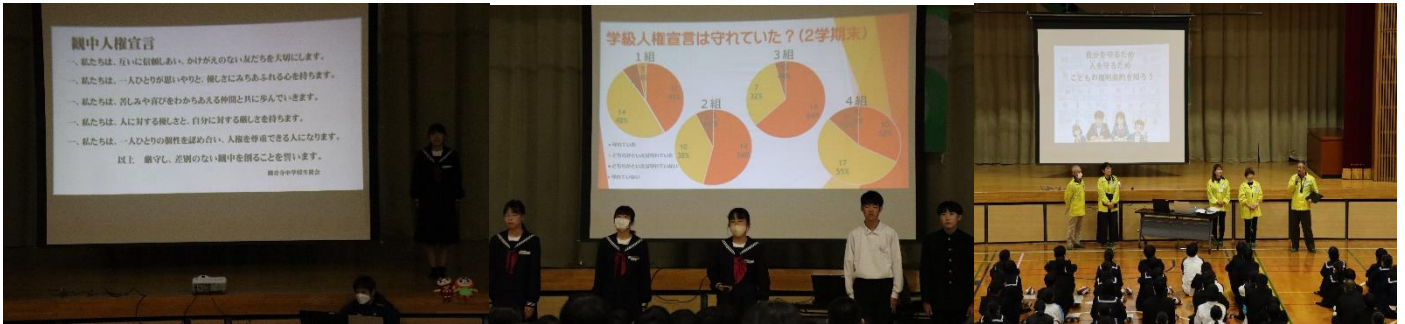
2024年度《No.8》

2024/12/20(金)

観音寺市立観音寺中学校

## 12月4日 人権集会

12月4日(水)に人権集会が行われました。人権標語優秀作品の表彰や各学年からの振り返り、校長先生からのお話(十人十色、自分を大切にすること)や観中人権宣言など、様々な内容を通して、人権について考える機会になったのではないかと思います。特に、各学年の振り返りでは、代表者から、現在の学年・学級の課題や目標をわかりやすく発表してくれました。一人一人がこれからの学校生活に活かしていきましょう。また、今年度も観音寺市の人権擁護委員の方々にご講演いただきました。



### ～生徒の感想より～

- 一人ひとりにあたえられた人権は他人を嫌な気持ちにさせるために使うのではなく、自分や相手を守るためにあることが分かって、これからもみんなが嬉しくなるようなことをたくさんしていきたいと思いました。
- 改めてクラスの人権宣言について考えてみると、いじめゼロの大切さやみんなが平和であることの大切さがたくさん感じられました。
- 子どもにも人権があり、「差別の禁止」など、みんなが安心して生活ができるような条約がたくさんあることが分かりました。
- 40条まであってこんなに考えてくれていてとても嬉しかったです。これだけ思ってくれているってことは、私たちはその分幸せになって返さないといけないと思いました。
- 差別の禁止とか、意見を表す権利とか、今まであたりまえにしてきたことが、本当は権利条約で守られていて、これがなかったら世界はやばくなっているのかなと思いました。もっと人権について理解を深めたいです。
- 僕は差別やいじめにあたり、被害者になったりしたことはないけど、もしかしたら、軽い気持ちで言った言葉が相手を傷つけていたなどを考えると、どんなときも言葉遣いは丁寧にしようと思いました。
- 人権は一人だけでは守れないものだと思います。誰か一人でも人を傷つける人がいると、それはどんどん広がっていく。人は完璧ではないので悪いところは誰にでもあると思います。でもその悪いところをどうするかで人はどんどん変わっていくと思います。自分を大切にすることも忘れないようにしたいです。
- 「自分が意見を言えるか？」という問いは、私はBの「ときどき言えないことがある」で、友達はAの「いつでも言える」でした。その友達と話してみて、「自分の意見を理解してもらうことは大切だ」という結論が出て、たしかにと感じました。